



## 【1】一種研開催報告

2026年6月の一種研を6月11日(木)に機械振興会館で開催しました。今回は、一般講演7件、IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件で、合計8件の講演がありました。その後、AP研表彰式が行われ、第6回電波伝搬モデリングコンペティション(PMC6)の表彰式も併せて行われました。また、一種研と並行して顧問会が行われました。

IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演では、今年めでたくIEEE Fellowとなられた三菱電機の高橋徹さんに「衛星通信／レーダ用フェーズドアレーアンテナの開発」と題して講演いただきました(写真1)。Fellow昇格の認定内容は、「衛星通信およびレーダシステム用フェーズドアレーの開発における主導的な貢献」であり、フェーズドアレーアンテナの「キャリアレーション技術」と「直交偏波共用化技術」の2つが主な業績です。これらの技術が観測衛星(だいち2号, だいち4号)で実用化されたことが大きなアピールになったとのことでした。「要素技術の成果でも革新性と社会への貢献を示すことができればFellowになれる。」「企業の方がむしろ社会貢献のストーリーが作りやすい。」というアドバイスとともに、A・P研メンバーのIEEE Fellow昇格へのチャレンジをつよくお勧めしていました。

研究会終了後に懇親会を行いました(写真2)。各賞を受賞された方々の紹介と挨拶がありました。



写真1 IEEE AP-S Tokyo Chapter 特別講演  
(三菱電機 高橋徹様)



写真2 懇親会の集合写真

## 【2】A・P研表彰報告

上記一種研の中で、A・P研の表彰式を行いました。受賞者の方々を以下に紹介します(敬称略)。受賞者の皆様、おめでとうございます。また、A・P研へのご尽力に対して感謝申し上げます。

◆2025年度活性化貢献賞 発表4回:唐沢好男, 発表4回:榊原久二男(名工大)

◆2025年度下期若手・学生奨励賞

- ・若手奨励賞 中山 弦(Science Tokyo), 田中裕士(名工大)
- ・学生奨励賞 山下日和(佐賀大), 久野珠典(東京電機大), 船引廉士(Science Tokyo), 松田拓未(新潟大)

◆2025年度AP研功労賞

太田喜元(ソフトバンク), 寶迫巖(情報通信研究機構), 木村雄一(埼玉大学), 北直樹(東京電機大学), 佐藤啓介(電気興業), 岩井誠人(同志社大学), 村田健太郎(岩手大学), 山田渉(NTT), 戸村崇(Science Tokyo), 上田英樹(村田製作所), 猪又稔(NTT), 長尾竜也(KDDI総合研究所), 石井望(新潟大学), 北尾光司郎(NTTドコモ), 羽賀望(豊橋技術科学大学), 佐々木元晴(NTT), 藤本孝文(長崎大学), 本田和博(富山大学), 村上友規(NTT), 中村光貴(NTT), 中西孝行(三菱電機), 黒川悟(産業技術総合研究所), 小林敏幸(日本電



写真3 AP 研功労賞の受賞者

業工作), 伊藤智史(KDDI総合研究所), 廣瀬幸(九州工業大学), 浅村彩(トヨタ自動車), 堅岡良知(KDDI総合研究所), 余元峰(産業技術総合研究所), 久野伸晃(NTTドコモ), 中林寛暁(千葉工業大学), 齋藤健太郎(鳥取大学), 林高弘(KDDI総合研究所), 井上祐樹(NTTドコモ), 鈴木祐介(電気興業), 豊見本和馬(ソフトバンク), 柳崇(三菱電機), 三木祐太郎(住友電気工業), 森岡和行(海上・港湾・航空技術研究所), 陸田裕子(日本電業工作), 吳奕鋒(情報通信研究機構), 中野雅之(KDDI総合研究所), 深沢徹(金沢工業大学), 平野拓一(東京都市大学), 飴谷充隆(産業技術総合研究所), 吉本修(ローデ・シュワルツ・ジャパン)

◆2025年度AP研活動貢献賞 高橋 徹(三菱電機)

### 【3】A・P研執行部新任者の挨拶

2026年度のA・P研執行部および各委員会委員長は下記の体制になりました(敬称略)。

**執行部** 委員長:今井 哲朗(東京電機大) 副委員長:大島 一郎(電気興業)

幹事:廣瀬 幸(九工大), 佐藤 啓介(電気興業) 幹事補佐:村田 健太郎(岩手大)

**各委員会** WS常設:西山英輔(佐賀大), 論文:笹森崇行(北海学園大), アンテナの歴史:大島一郎(電気興業), 表彰:道下尚文(防衛大), 国際:日景 隆(北大), 伝搬:北 直樹(東京電機大)

今回は執行部の新任のお二方からのご挨拶をご紹介します。

**【佐藤 幹事】** このたび、幹事に就任いたしました電気興業の佐藤と申します。このような機会をいただき、大変光栄に存じます。入社以来、AP研には継続して参加させていただいてまいりましたが、まさか自分にこのような役割が回ってくるとは思っておらず、身の引き締まる思いです。AP研のさらなる発展に少しでも貢献できるよう、努めてまいります。また、毎月開催される研究会において、皆様と現地でお会いできることを楽しみにしております。今後2年間、どうぞよろしく願い申し上げます。

**【村田 幹事補佐】** この度、AP研幹事補佐を仰せつかりました岩手大学の村田です。学生時代から参加してきたAP研の運営に携わる機会をいただき、大変光栄に存じます。幹事補佐として、毎月の研究会発表や積極的な質疑を通じた活性化、ならびに若手・学生の参加促進に向けた新たな企画に取り組んでまいります。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【4】副委員長の戯言

#### ◆ジョブ型はもう古い？

弊社では、昨年度から人事評価制度の見直しが行われ、いわゆるメンバーシップ型からジョブ型へ切り替えが進められています。メンバーシップ型は、従来からの年功序列を前提とした制度で、人に仕事を割り当てながら長期に人を育てていきます。ジョブ型は、仕事に必要な職務を明確に記述し(職務記述書(ジョブディスクリプション)), 社員が持っているスキルと照らし合わせて、仕事に人を割り当てます。弊社では、役職の名称が変更になったり、評価基準が大きく変わったりして、1年経った今でも移行途中であり、混乱が続いています。管理職の私の立場からは、以前は部下を多面的に見て評価する必要がありましたが、今は仕事の目標に対する成果のみで評価するので以前よりも判断しやすいと感じています。

それから、弊社では対応していませんが、博士課程の学生を対象としたジョブ型研究インターンシップという制度もあり、必要なスキルをもつ即戦力人材の採用などに利用されているようです。

上記のように弊社ではジョブ型に切り替えたばかりですが、最近では、ジョブ型はもう古いと言われ始めているらしいです。仕事においてAIの使用が当たり前になってきた現在では、職務記述書で職務を固定しては柔軟性に欠けるとのことで、今後は制度を柔軟に変えていく努力が必要なようです。

#### 〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 大島 一郎(電気興業)

E-mail: ap\_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)

AP-NET: A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて

A・P研HP: <https://www.ieice.org/cs/ap/>

